

平成24年度事業報告

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

平成24年度の事業におきましては、財団の財政基盤ならびに事務局人員体制を勘案した上で、「全日本マイクロマウス大会の継続的な開催」を最優先課題として大きな体制転換を行いました。

特に全日本大会の開催についての運営は平成23年度より、参加者を主体とするボランティアグループの協力を得ながら行ってまいりましたが、平成24年度からはさらに大学での開催を中心に考える体制とし、その準備・運営につきましても、年度毎の実行委員会を新たに組織し、大学関係者を中心としながら参加者にも参加頂きながら実施してまいりました。

平成24年度におきましては、そのひな形として実行委員会の委員長を芝浦工業大学の長谷川忠大先生にお引き受け頂き、芝浦工業大学からの会場の提供をはじめ、共催協力を受けるなど全面的なご協力を頂きながら、成功裏に実施する事が出来ました。

平成25年度につきましては、その第二弾として東京理科大学の中村文一先生に実行委員長をお引き受け頂き、現在すでにその具体的な大会の準備を進めている所です。

今後とも引き続き当財団事業につき、皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

【事業】

1. 科学技術に関する普及、調査研究及びこれらに対する助成に関する事業

(1) メカトロニクス技術・ロボット技術の普及活動と助成事業

① マイクロマウス2012（第33回全日本マイクロマウス大会）の開催

本年で33年目となる全日本マイクロマウス大会は、昨年までのつくば市開催から大学を開催の場として移し、その大会運営についてもマイクロマウス委員会とは別に、年度毎の実行委員会を設けて準備・運営することとした。

4月から長谷川忠大実行委員長以下、30名を超える実行委員会が構成され、5月から

月例の実行委員会を行い、初めての方式で有ったにもかかわらず、大会当日の参加者主体のボランティアは延べ150名を超え、非常にスムーズな運営が行われた。

今年度のマイクロマウス2012は、総登録数347台（昨年度：318台）と大幅に増加しただけでなく、各競技種目において国内選手が久しぶりに優勝や、多くの選手が上位入賞するなど熱戦が繰り広げられた。

【事業内容・実施時期】

マイクロマウス2012

- ・会場：芝浦工業大学 豊洲キャンパス テクノプラザ
- ・日程：2012年11月23日(金・祝)～25日(日)
- ・主催：公益財団法人ニューテクノロジー振興財団
- ・運営：マイクロマウス2012実行委員会（委員長：芝浦工業大学 長谷川忠大）
- ・運営協力：マイクロマウス・サポーターズ、ほかマイクロマウス関係団体
- ・共催：芝浦工業大学、公益財団法人科学万博記念財団
- ・後援：経済産業省、文部科学省、公益社団法人計測自動制御学会、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人日本ロボット学会
- ・特別協賛：株式会社IHI、株式会社アールティ、マイクロテック・ラボラトリー株式会社、公益財団法人オリエンタルモーター奨学財団
- ・協 賛：マクソンジャパン株式会社、他関係各社
- ・メディアスポンサー：株式会社オーム社 ROBOCON MAGAZINE、アイティメディアMONOist
- ・賞品提供：関係各社（協賛企業を含む）

【募集方法等】

財団ホームページやメールマガジン等を通じて広く公開し、国内外からもインターネットを通じて参加登録できるよう配慮を行った結果、下記の通り昨年を上回る参加登録が有った。

- ・参加登録総数：347台（昨年度総数318台）

	参加登録台数	昨年台数
・ロボトレース競技	112台	95台
・マイクロマウス競技（フレッシュマンクラス）	100台	99台
・マイクロマウス競技（エキスパートクラス）	92台	91台
・マイクロマウス競技（ハーフサイズ）	43台	33台

種別比率	種別	人数	比率(%)
1	社会人	105	30
2	大学・大学院	173	50
3	専門学校等	31	9
4	高校生	30	9
5	中学生	8	2
	合計	347	100

※その他、今年度より大学開催という事にちなみ、表彰式前に初めての技術講演会を開催。講師は小島宏一氏（元京都大学 機械研究会、現産総研所属）
今回の公演テーマは「正確に走るためのパラメータ調整」

②マイクロマウス地区大会等の開催と助成

昨年同様、下記の地区大会・学生大会を共催すると共に助成を行った。

- ・ 7月15日 関西地区大会 京都コンピューター学院
- ・ 7月29日 金沢草の根大会 金沢工業高等専門学校
- ・ 9月2日 中部地区初級者大会 名古屋工学院専門学校
- ・ 9月23日 東日本地区大会 東京科学技術館
- ・ 9月30日 北陸信越地区大会 新潟県立自然科学館
- ・ 10月14日 東北地区大会 長井市地場産業振興センター
- ・ 10月21日 全国学生大会 東京工芸大学（※初開催）
- ・ 10月28日 中部地区大会 名古屋工学院専門学校
- ・ 11月4日 九州地区大会 麻生工科自動車大学校（福岡市※初開催）

③つくばチャレンジ2012への協力

【事業内容・実施時期】

※つくばチャレンジについては、2011をもって一旦終了する予定としていたが、多くの参加大学研究室等より、技術伝承の為に本年度も開催することを求める声が寄せられた為、急遽2011と全く同じ課題にて本番の二日のみ運営する事となった。

- ・ 日程：2012年11月10日(土)公開走行実験～11日(日)本走行
- ・ 主催：つくば市、つくばチャレンジ実行委員会
- ・ 協力：公益財団法人ニューテクノロジー振興財団、ほか関係団体

【募集方法等】

本年度主催団体のつくば市ホームページ、およびつくばチャレンジ実行委員会からのつくばチャレンジメーリングリストへの広範な案内を行い、下記の36チームが参加登録を行った。

- ・ 参加：36チーム

(2) その他の普及活動

①一般財団法人日本視聴覚教育協会他と共催し、全国こども科学映像祭を実施。

表彰式・上映会：2013年2月9日(土) 日本科学未来館

・文部科学大臣賞

中学生部門：八丈町立三原中学校 サイエンスクラブ（東京都）沖山 遼斗 土屋文彦

小学生部門：岡崎市立大樹寺小学校 5年（愛知県）内田 悠雅

・その他、優秀作品賞、佳作、特別賞を贈賞

2. 関連広報事業

1. の普及活動と助成事業の結果を受けて、実施事業に関する情報発信、情報公開を以下の通り行った。

【事業内容】

① つくばチャレンジ2012シンポジウム

・日時：2013年1月5日（土）10時～16時

・筑波大学 大学会館特別会議室 および 総合国際交流会館

② 関連学会での特別セッション

第13回計測自動制御学会SI部門講演会 SI2012

・日程：2012年12月18日（火）～20日（木）

・会場：福岡国際会議場

・「つくばチャレンジ」をテーマとするオーガナイズドセッションを一般公開行事として入場無料で開催

③ その他広報事業

・関連事業及び参加募集に関する情報のホームページでの情報公開、およびメールマガジン発行により広範な情報開示を行った

・その他、マウスに関するDVDの製作と希望者への実費による頒布を実施

3. 情報交流及び国際交流事業

【事業内容等】

① International Conference on Intelligent Robots and Systems 2012への協力
(知能ロボットとシステムに関する国際会議2012：略称 IROS2012)

② IROS2012におけるNTF Awardの贈賞

・開催日程：平成24年10月7日（日）～12日（金）

・開催場所：ポルトガル Vilamoura, Algarve

- ・受賞者(著者) : Maxime Frechette , Dominic Létourneau , Jean Marc Valin , Francois Michaud
- ・論文タイトル : Integration of Sound Source Localization and Separation to Improve Dialogue Management on a Robot
- ・副賞賞金 : 1,000 U S \$ 相当

【事業報告の附属明細書について】

なお、法律および当財団定款に規定された「事業報告の附属明細書」については、今年度については「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないので、作成しない事とします。

以上